

# 家庭教育学級（おしゃべりたぬき学級）

## 浴衣の着付けに挑戦（7月5日）

最近、祭りや花火大会等で浴衣を着ている若い人を良く見かけます。男性の浴衣姿も多くなりました。浴衣が合理的にできていてさっと着られるようになったことや浴衣を着て参加すると特典が得られるというイベントが多くなったことも要因の一つかもしれませんが、夏の浴衣姿は素敵です。

そこで、自分自身も着られて、我が子に「浴衣を着せて！」とせがまれた時、着付けられたらということで、「泉水着付け教室」の先生を講師に「浴衣の着付けに挑戦！！」を開催しました。

学級生は九州の実家から結婚前に着ていた浴衣を送ってもらった人。十数年前に袖を通したきり、仕舞ったままだったという人、浴衣を持っていないという人、若い時に自分で作った浴衣を持参したなど様々でした。6人の学級生に講師の先生他お弟子さん4人が教えてくださいました。まずは浴衣のたたみ方です。細かいところがわからず、教えていただいた通りにたたんでいくときれいな四角にたためました。

さあ、いよいよ着付けです。先生の「ただ着るのではなく、粋に着ましょう。」という一言から始まり、全員が1対1で丁寧に教えていただきました。前を合わせるのも人に着せる時は簡単だけど、一人で前を合わせるのは難しくみんなてこずっていました。先生から「粋に着るには、襟元が肝心！」と教わり、ちょっと後ろ襟をひくと姿勢もよくなります。

ようやく浴衣を着ることができましたが、最も難しいのは帯をしめることです。帯の結び方にもいろいろあり、前で結んで後ろに回します。結んだ時の帯の形や向きを考えると手が思うように動かないようでみんな四苦八苦していました。でも、講師の先生方が一人一人に丁寧に教えてくださったので、最後にはみんな粋に浴衣を着ることができました。



粋に着ると姿勢も  
気持ちも  
シャキッとしま  
す。



我が子にも浴衣  
を着せられる自  
慢できるお母さ  
んになりました。  
た。